

経営比較分析表（令和4年度決算）

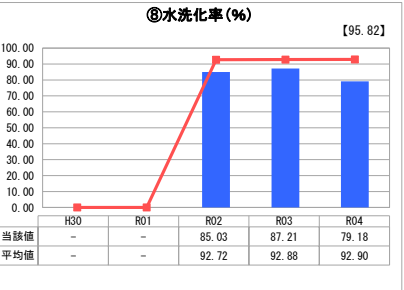
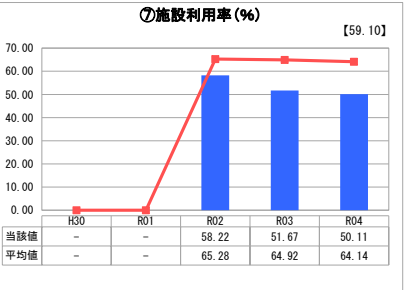
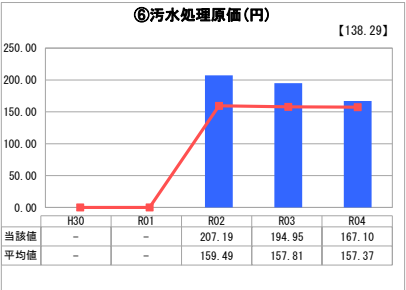
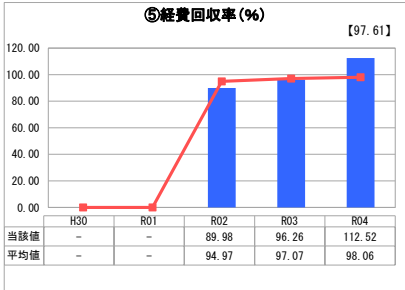
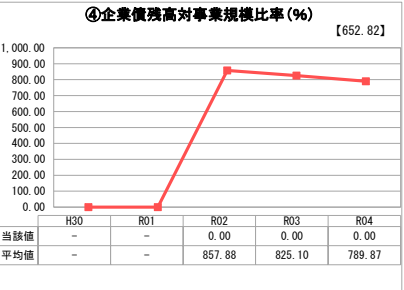
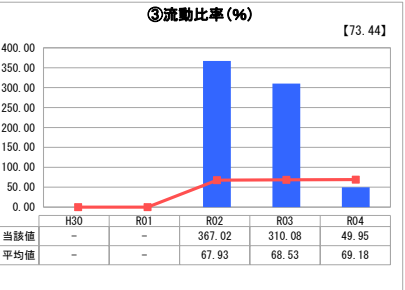
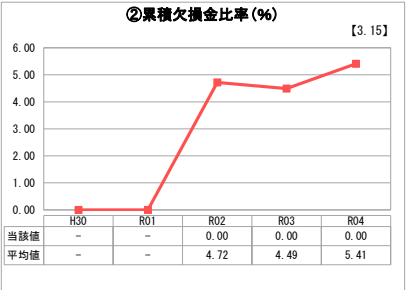
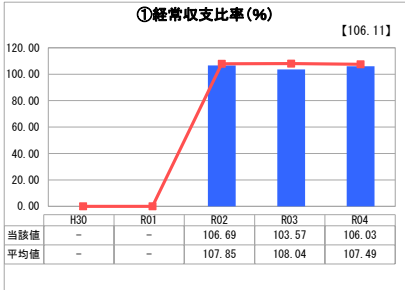
宮城県 石巻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.86	67.99	85.49	3,575

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
136,822	554.55	246.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
92,333	25.57	3,610.99

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

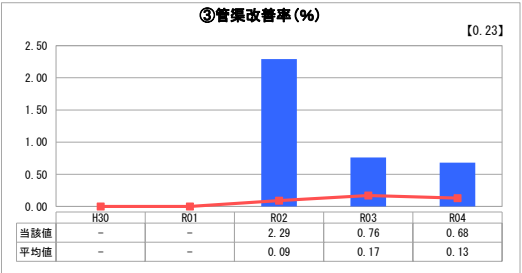
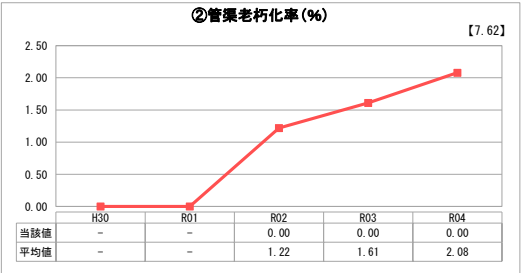
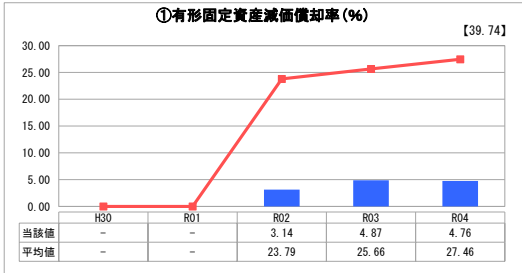
1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率
前年度と比較すると大きく減少しているが、前年度、流動資産にあった翌年度繰越財源の一般会計繰入金が事業進捗により減少したことによるものである。
なお、流動負債は、企業債償還金が多くを占めているが、年々企業債残高は減少傾向にあることから、今後も引き続き、計画的な企業債の発行及び経費削減に努める必要がある。
⑥汚水処理原価
類似団体平均値より高い水準となっている。引き続き、不明水対策による汚水処理費用の削減や普及啓発活動による有収水量の増加を図っていく必要がある。
⑦施設利用率
類似団体平均値より低い水準となっている。震災の影響により雨水事業を優先し、汚水計画を見直したため、当面改善は難しい。
⑧水洗化率
人口算出の精査により、水洗化率は減少した。今後は更なる普及啓発活動により、水洗化率の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
増加傾向にあるが、類似団体平均値より低い水準となっている。今後は、ストックマネジメントの手法を活用した調査・修繕・更新の長寿命化事業への取り組みを進めていきたい。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
公共下水道事業は、昭和48年の事業着手から50年になることから、今後は汚水管の管理や更新を一体的に実施するウォーターPPPの導入を進める。

2. 老朽化の状況



全体総括

東日本大震災による災害復旧事業や復興事業を優先した結果、通常の汚水管渠整備が遅れている状況にある。
今後は、人口減少による料金収入の減少や施設の老朽化による修繕費用の増加が見込まれ、経営は更に厳しさを増していくことから、今後改定する経営戦略に基づく徹底した経営健全化やストックマネジメントによる計画的な施設の長寿命化を図っていくなければならない。
また、汚水処理原価に係る使用料の適正な水準を見定め、経営の安定化に努めるほか、復興事業（雨水施設）により増加した施設を含め、効率的な施設の維持管理を進める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。